

全日本トラック協会ニュース

10 月 9 日から全日本トラック協会ホームページで

「WEB 版ヒヤリハット集」を公開

ドラレコ映像の共有化で、KYT (危険予知トレーニング) を促進

公益社団法人全日本トラック協会は、「WEB 版ヒヤリハット集」を 10 月 9 日からホームページ (<http://jta.or.jp>) 上で公開します。

「ヒヤリハット」とは、交通事故になりかねない「ヒヤリ」または「ハッ」とした瞬間のことで、最近ではドライブレコーダで映像として記録することが可能です。トラック運送業界でも、ドライブレコーダが急速に普及するなか、記録された「ヒヤリハット」映像を KYT (危険予知トレーニング) などの安全教育の素材として、効果的に活用する事業者が増えています。

これらの映像を全日本トラック協会が収集し、ヒヤリハット集として内外に公表することで、トラックをはじめ一般のドライバーや歩行者などにも、安全啓発のツールとして広く活用されることが期待されます。

「WEB 版ヒヤリハット集」の主な特徴を 2P に、イメージ画像を 3、4P で紹介します。

◆お問い合わせ先 (公社)全日本トラック協会 <http://www.jta.or.jp/>
総務部広報室 金子・長嶋 ☎ 03-5323-7242
交通・環境部 永嶋・伊藤 ☎ 03-5323-7243

● 「WEB 版ヒヤリハット集」 の主な特徴 ●

- (1) インターネットに繋がっているパソコンやタブレット端末など、WEB ブラウザの利用環境があれば、いつでも、どこでも、誰でも簡単に、最新のヒヤリハット事例を閲覧することができます。
- (2) 採用されている映像は全てトラック運送事業者のドライブレコーダで記録されたもので、トラックドライバーが実際に経験したヒヤリハットを疑似体験することができます。
- (3) 道路条件や発生場所に応じて整理された事例により、様々な道路や交通状況のなかに「どのような危険が潜むか」、「どのようにすれば事故を防げるか」を学習することができます。
- (4) トラック協会会員が KYT（危険予知トレーニング）ツールとして活用できるよう、ヒヤリハット映像を再生する前に、解説シートを閲覧する仕組みにしています。
※KYT の利用は、会員に限定されます。（要ユーザー登録）
- (5) 当初は数事例でスタートさせますが、随時アップデートを図り、今年度内に 30 事例、1 年以内に 100 以上の事例掲載を予定しています。

以上

ヒヤリハット集



ヒヤリハット集は、トラック事業における事故防止を目的としています。

会員事業者から提供されたドライブレコーダー映像を見ながら、「どんな危険が潜んでいるか」「どのようにすれば事故を防げるとするか」を考えながら、危険予知トレーニングにお役立てください。

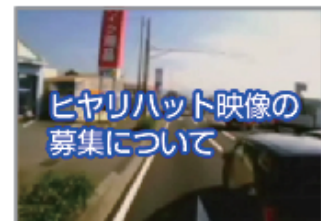
■ カテゴリー一覧

相手	区分	道路種別	発生した場所	状況	原因
▶ 自転車	▶ ヒヤリハット	▶ 一般道路	▶ 交差点(信号有り)	▶ 直進中	▶ 飛び出し
▶ バイク	▶ 接触事故(軽微)	▶ 高速道路	▶ 交差点(信号無し)	▶ 停止中	▶ 信号無視
▶ 乗用車	▶ 重大事故	▶ 路地	▶ 横断歩道	▶ 右折	▶ 前方不注意
▶ トラック・バス等	▶ 物損事故	▶ その他	▶ 車線変更時	▶ 左折	▶ スピード超過
▶ 子供	▶ その他		▶ 合流	▶ その他	▶ その他
▶ 大人			▶ その他		
▶ 高齢者					
▶ その他					

▶ 映像一覧

■ 新着情報

▶ 一覧

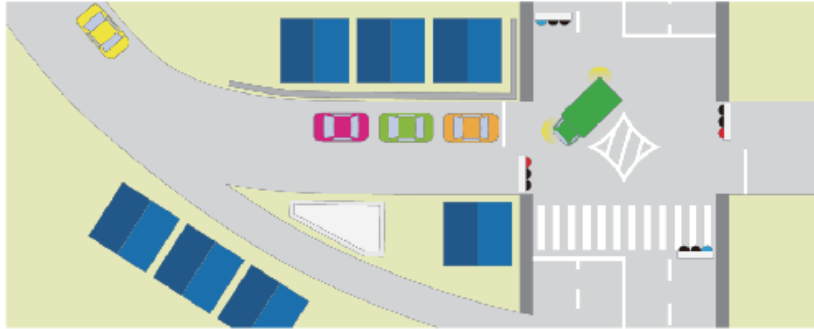


ヒヤリハット集



■ 片側1車線の道路を右折

片側1車線の道路を右折しようとしています。
この時、あなたは何に注意しますか？



「どんな危険が潜んでいるか?」「どうすれば事故を防げるか?」を考えながら、映像を視聴してください。

KYT 終了後にご覧ください

映像を見終わったら、安全運転のポイントを参考に、この事例のような交通状況の時、どんなことに気をつけねばよいかを確認しましょう。

映像情報

事故・ヒヤリハットの相手：自転車	発生した場所：交差点（信号無し）
区分：接触事故（軽微）	状況：停止中
道路区分：一般道路	原因：信号無視

ヒヤリハット映像を活用して 危険予知トレーニング（KYT）をしましょう。

事故に遭わないためには、道路状況に潜むさまざまな危険を予測しながら運転することが大切です。ドライブレコーダーのヒヤリハット映像を繰り返し、視聴して、交通状況に潜む危険を事前に察知できる能力を身につけましょう。

[前のページへ戻る](#)